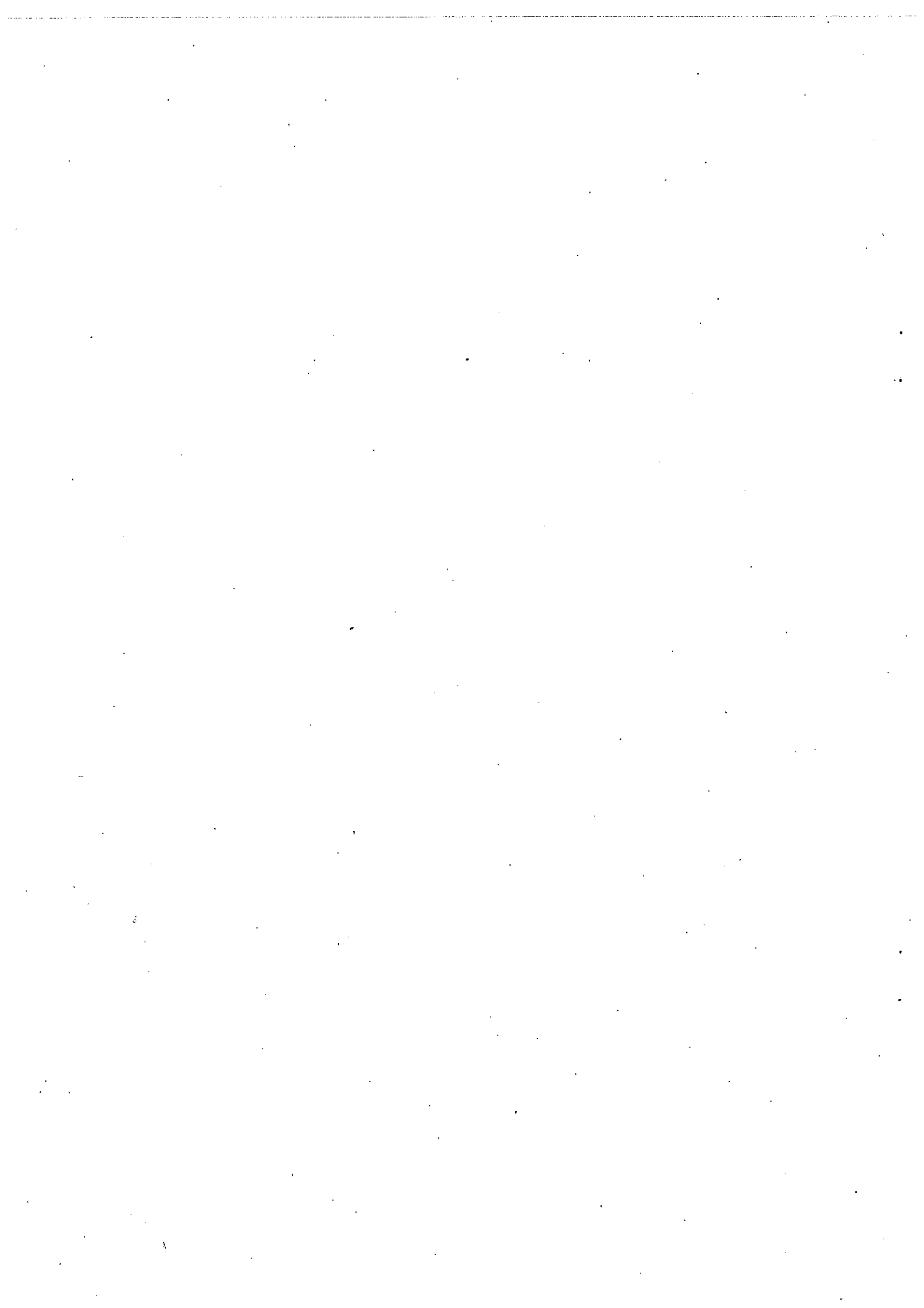


農林水産商工常任委員会資料

(令和元年7月19日)

項目	ページ
1 日野川工業用水（石州府）の供給停止について	
	【立地戦略課】 …… 1
2 倉吉「打吹回廊（うつぶきかいろう）」のオープンについて	
	【企業支援課】 …… 2
3 環日本海定期貨客船航路就航10周年記念行事等について	
	【通商物流課】 …… 5
4 鳥取県と露日ビジネスカウンスルとの協力に関する覚書の署名について	
	【通商物流課】 …… 6
5 障がい者雇用の特例子会社(株)サンライズさんこう事業開始式について	
	【雇用政策課】 …… 8

商 工 労 働 部



日野川工業用水（石州府）の供給停止について

令和元年 7 月 19 日
企業局 経営企画課
商工労働部立地戦略課

シャープ米子㈱から、本年 9 月末（予定）で工業用水を使用停止したい旨の申入れがありましたので、その概要等を報告します。

1 申入れの概要

(1) 使用停止の理由

新たなディスプレイ関連事業への事業転換を図るため、洗浄水を必要とする液晶製造の前工程（パネル製造）から、水を必要としない後工程（周辺回路実装・組立）に移行することに伴い工業用水が不要となるもの。

なお、工業用水の使用再開は予定されていない。

(2) 使用停止の時期

2019年9月末（予定）

2 今後の対応

(1) 日野川工業用水（石州府）の対応

- ・申入れを受けて、本年 10 月以降の日野川工業用水（石州府）を供給停止する予定。
- ・日野川工業用水（石州府）は、今後の供給の可能性等を考慮して休止とし、維持管理を継続する。

(2) 経営改善の取組み

今回の減収を補い、経営改善を図るため、安価で良質な工業水のメリットを PRしながら、工業水利用企業の誘致や未利用企業の工業水への切替え等による工業水の需要拡大に、知事部局や地元市等と連携して積極的に取り組む。

<新規需要の見通し等>

- ・境港水産事務所「高度衛生管理市場」（200 m³/日、令和元年 6 月操業）
- ・米子バイオマス発電合同会社（3,400 m³/日、令和 3 年 10 月操業予定）

(参考) 日野川工業用水（石州府）の概要

シャープ米子㈱の前身、旧㈱米子富士通へ工業用水を供給するため、米子市の工業水の供給能力では賅えない水量を安定供給するため、平成 7 年度から供給開始。

<工業水の供給状況>

- ・供給先 シャープ米子㈱ 1 社

〔基本使用量：500 m³/日（日野川工業用水全体 28,500 m³/日の約 2%）、
料金：@53 円/m³、給水収入：11,000 千円/年（平成 30 年度実績）〕

倉吉「打吹回廊（うつぶきかいろう）」のオープンについて

令和元年7月19日

企業支援課

倉吉市において、旧ナショナル会館の跡地の整備により誕生した複合施設「打吹回廊」（実施主体：㈱チュウブ・倉吉銀座商店街振興組合）が、7月20日（土）にオープンします。

この事業は倉吉市中心市街地における中部地震復興の総仕上げの象徴的な事業であり、「打吹回廊」が整備されることで白壁土蔵エリアと倉吉銀座商店街通りの回遊を生み出し、新たな賑わいが創出されることが期待されています。

1 事業概要

実施主体	㈱チュウブ・倉吉銀座商店街振興組合
実施場所	旧ナショナル会館跡地（倉吉市明治町1032-19）
目的	㈱チュウブ、倉吉銀座商店街振興組合との連携により、商店街通りと観光エリアである白壁土蔵群との結節点に位置する旧ナショナル会館跡地を活用し、観光エリアの玄関口として商店街通りへの回遊を生みだし、観光客、地域の若い世代の生活者における商店街への集客・交流に繋げ、地域商業の自立と成徳エリアの活性化を牽引する拠点となる施設を整備する。
工期	平成30年10月26日～令和元年6月30日（当初の工期末（H31.3.29）を延長）
施設概要	①展望塔（約46㎡） 3階からまちを展望。スパイラル階段周辺に吹抜遊具を設置。 ②交流棟（約267㎡） 1F：ビジターセンター、地場産品を扱う物販ショップ 2F：コミュニティホール ③飲食棟（約388㎡） 1F：カフェ（事業者募集中）、キッズスペース 2F：郷土自然食レストラン

2 打吹回廊開所式

《日時》 令和元年7月20日（土）15時～16時 ※16時～18時は祝賀会開催

《次第》 打吹太鼓披露、主催者挨拶（㈱チュウブ 大田会長）、施設紹介、
来賓挨拶（平井知事、石田市長、藤縄県議会議長、倉都倉吉商工会議所会頭他）、鏡開き

《場所》 打吹回廊 中庭

《主催》 ㈱チュウブ・倉吉銀座商店街振興組合

※同日夜は、倉吉銀座商店街振興組合が倉吉銀座通りで土曜夜市を開催し、歩行者天国となる倉吉銀座通りを含む白壁土蔵群周辺に賑わいを創出。

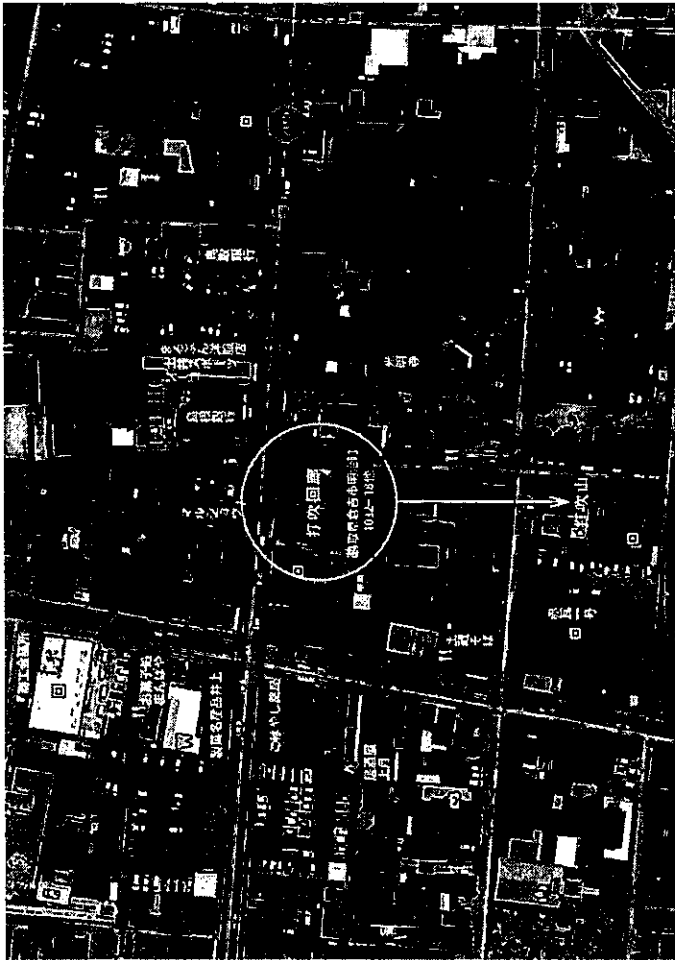
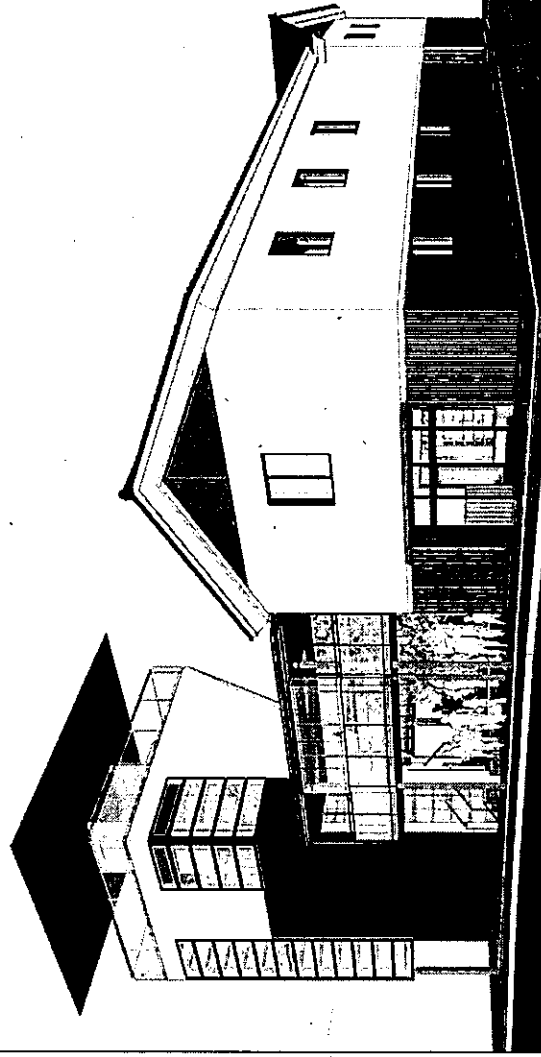
※今後、打吹回廊を中心に周辺施設等と連携し、スタンプラリー等のイベントを継続して実施予定。

3 総事業費と国、県、市の支援状況

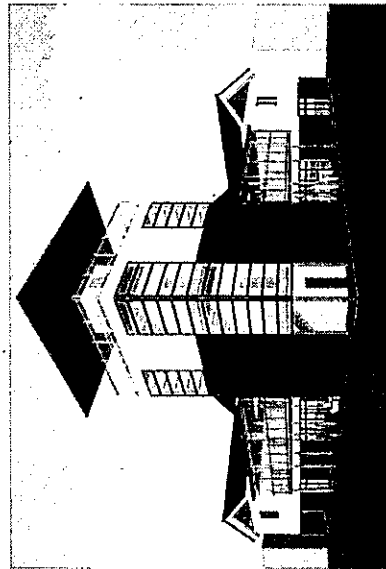
	項目	金額(千円)	補助金名
補助金	経済産業省	111,115	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金
	県	20,000	鳥取県震災復興地域商業活性化促進支援事業補助金 [市間接補助]
	市	20,000	倉吉市震災復興地域商業活性化促進支援事業補助金
	事業者負担	239,963	
	総事業費	391,078	

回廊 廊吹

UTSUBUKI CORRIDOR



案内図

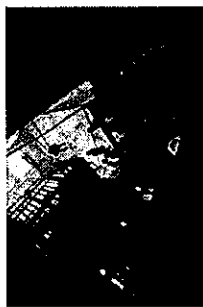


企画・運営	株式会社デュープ 倉吉駅前商店街振興組合 鳥取県 倉吉市	設計・監理 (代表)	環境デザイン研究所・オオモエ建築設計事務所設計共同企業体 株式会社環境デザイン研究所 有限会社オオモエ建築設計事務所 株式会社増田建築構造事務所
後援	倉吉市	工事監理 (代表)	井手組・石崎・オオモエ工事監理共同企業体 有限会社 非手組建築設計事務所 株式会社 尾崎設計事務所
事業調査	株式会社デュープ 倉吉市中心街活性化協議会 倉吉商工会議所・(株)赤瓦		株式会社 オオモエ建築設計事務所

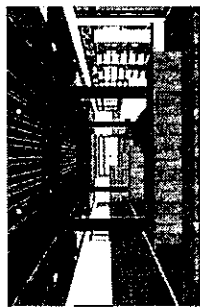
※中国経済産業局 地域商業自立促進事業

回廊 廊吹

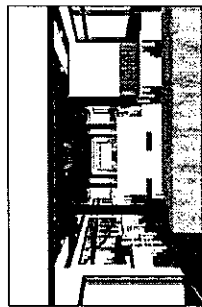
倉吉の伝統を継承しながら
新たな活力を生み出す現代の交流の場



① 展望棟：プレイストラックチャー
展望棟のスパイラル階段周辺の吹放遊具
子ども遊を見守り大人も遊べる空間



② ビジターセンター・ショップ
観光案内対応窓口となるビジターセンターと
地産産物のある物販ショップ

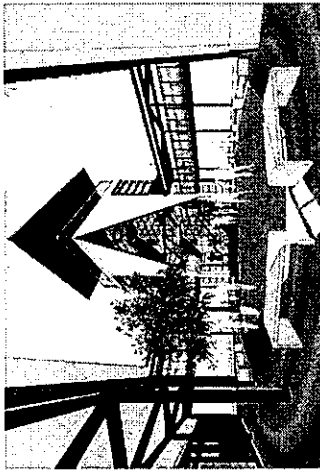


③ カフェ・キッズスペース
家族のカフェスペースと子育ての
地域コミュニティとなるキッズスペースを併設

集客を喚起し町を元気づける遊園構造



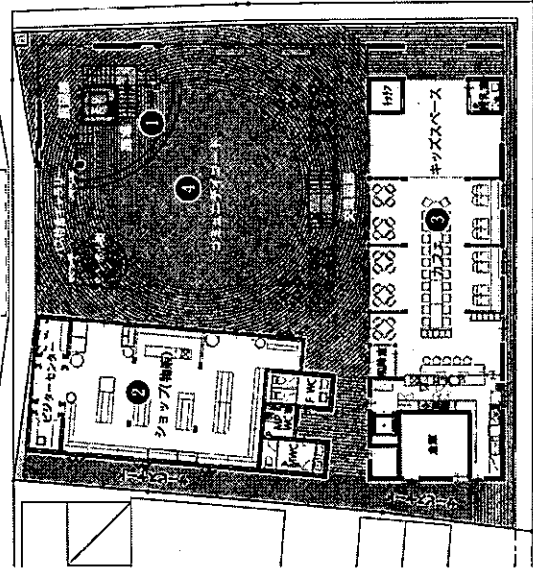
遊園構造の概要



④ コミュニティコートから見るイベントステージ・展望棟
室内のコミュニティホールは遊より
屋外も斬新・新鮮・刺激的なイベント空間・交流空間となる

1F

倉吉銀座商店街通り



コンセプト

1. 白鹿土蔵の街 倉吉のビジターセンター機能・郷土文化機関等を継続した集客施設。
2. 市内市場イベント等様々なイベントを開催できる総合イベント施設。
3. キャラリー・キッズスペース・ホームカフェ、外遊遊具等を備えより育を発展させて行ける施設計画となる。
4. 商工・観光、市民交流の場として内部ホール・外部オープンスペースを在体した中核施設。外部空間は各施設の特色及び拡張空間となる。
5. 赤瓦の街並みを見守らす展望塔を遊具と階段がスパイラルして新しい街のシンボルタワーとなる。
6. 内部空間と外部空間、ランドレベメルと見晴らしレベル、また其々の中間領域ギャラリー・遊具等を設ける事で魅力的な施設計画としている。
7. 内部空間と外部空間は遊具と動線など領域が貫入できる多孔隙な遊園構造となる事で密着な関係性を演出できる。



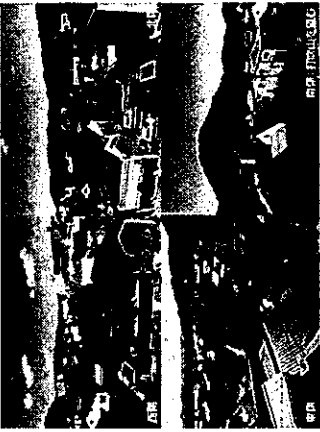
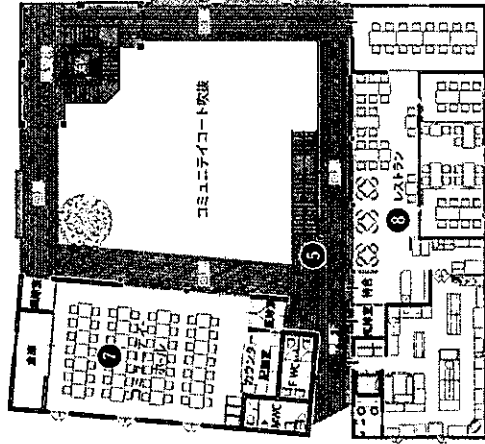
⑤ 回廊からのコミュニティコート
展望棟・交流棟・吹き抜け・回廊棟と一体になるコミュニティコートで
様々な遊具と動線、機能が交錯する

2F



吹放遊具

屋階



⑥ 展望回廊からの眺望
赤瓦と白壁の倉吉の街並みと打吹山、
遠くは大山を見渡す景観が広がる



⑦ コミュニティホール

日本家庭小規模の開放感の伝承と継承し
アンジョーン工法による現代的架構を融合



⑧ レストラン

古民家風イメーجزの色彩と優しい照明計画を
取入れた郷土自然式レストラン

環日本海定期貨客船航路就航10周年記念行事等について

令和元年 7月19日
商工労働部通商物流課

7月5日(金)に環日本海定期貨客船航路就航10周年記念行事を開催し、DBSクルーズフェリー(株)ムン・チュンウン代表理事ほかDBS幹部2名や、江原道行政副知事、東海市議員、ロシア連邦在大阪総領事、韓国駐神戸総領事館など、関係地域の皆様と就航10周年を祝いました。

1 記念行事の概要

(1) 記念セレモニー

日時 7月5日(金) 9時15分～10時(境港国際旅客ターミナル)

参加者 鳥取県知事、中海・宍道湖・大山圏域市長会長、環日本海経済活動促進協議会
DBS ムン・チュンウン代表理事、アン・グンイル監査、チョン・ウク専務

江原道 キム・ソンホ行政副知事、東海市 キム・キハ議員
県議会福田副議長、境港市議会終議長、境港管理組合議会浜田議長
国機関(神戸税関境税関支署、広島出入国在留管理局境港出張所、
中国地方整備局境港湾・空港整備事務所、境海上保安部)

境港市観光協会、境港管理組合事務局長、境港警察署、旅行社、貨物代理店 計 23名



(2) 知事面談

日時 7月5日(金) 10時30分～45分(SANKO夢みなとタワー特別会議室)

相手方 DBS ムン・チュンウン代表理事、アン・グンイル監査、チョン・ウク専務

結果(主な発言)

【平井知事】鳥取県は、観光地として魅力があり、サイクリング客も多く訪れている。鳥取県と韓国の交流の歴史は深く、隣人として壁があってはいけない。新代表はじめDBS社には引き続きご協力いただきたい。新しいスタートを切っていきたい。

【ムン代表理事】

式典に参加したのは、今後10年、20年と運航を続けていきたい思いからである。鳥取県等には支援をいただき感謝している。鳥取県の魅力はよく分かった。これからは変化を取り入れ、経営の正常化に取り組む。よく検討していきたい。今後も県とよく連携して取り組んでいきたい。

(3) 記念レセプション

日時 7月5日(金) 18時～20時(ANAクラウンプラザホテル米子)

参加者 鳥取県知事、中海・宍道湖・大山圏域市長会長、環日本海経済活動促進協議会会長

DBS ムン・チュンウン代表理事、アン・グンイル監査、チョン・ウク専務

江原道 キム・ソンホ行政副知事、東海市 キム・キハ議員

在大阪ロシア連邦総領事館リョボフ総領事、駐神戸大韓民国総領事館カンハ領事

境港市市長、米子市長、松江市長、安来市長、出雲市副市長

県議会農林水産商工常任委員会 島谷委員長、鹿島副委員長、西村委員、福間委員、安田委員

境港市議会 終議長、境港管理組合議会 浜田議長

国機関(神戸税関境税関支署、境海上保安部)

境港市観光協会、境港管理組合事務局長、境港警察署、旅行社、貨物代理店

商工・貿易関係機関、旅行団体 等

計 59名

2 環日本海定期貨客船航路の旅客・貨物の需要拡大に向けた取り組み

環日本海定期貨客船航路の安定就航・更なる発展に向けて、県等地元が一体となった旅客・貨物の需要拡大に向けた取り組みを行うことを確認しました。

(1) 環日本海定期貨客船航路の需要拡大対策会議

来年春の夢みなとターミナル供用開始や皆生・弓ヶ浜サイクリングコースの一部開通、鳥取西道路の開通等、整いつつあるインフラを活かし、県東部までエリアを拡大したDBSの旅客・貨物需要拡大に取り組むため、対策会議を開催。

日時 令和元年7月17日(水) 11時～11時40分

参加者 (鳥取県) 平井知事、商工労働部、交流人口拡大本部、西部総合事務所、中部総合事務所、市場開拓局

(関係団体) 中海・宍道湖・大山圏域市長会、環日本海経済活動促進協議会、(一社)山陰イバウンド機構、(一社)鳥取中部観光推進機構、(一社)麒麟のまち観光局

(2) 旅客・貨物の増大にむけた戦略の実施

「県等地元の取組」及び「DBS社で検討している取組」を調整し、官民一体となって具体的戦略を実施する。

<取組案> (貨物)・県外(関西、山陽、島根)等の荷主への掘り起しキャンペーン

・フェリーの特性(定時性、多様な形状の貨物に対応)を活かした貨物に応じた輸送サービスの提案、貨物の掘り起し

(旅客)・自動車、バイク、車など組合せたツアー造成、キャンペーン

・鳥取西道路開通に伴う県東部、但馬地域を観光地に含めたツアー造成

・ヨーロッパや、鳥取県外等の広域へのPR

鳥取県と露日ビジネスカウンシルとの協力に関する覚書の署名について

令和元年7月19日
商工労働部通商物流課

露日ビジネスカウンシル レピク・アレクセイ会長が初めて来県し、とっとりバイオフィロンティア及び医療関連企業の視察、平井知事との面談及び協力覚書への署名を行いました。今後、同覚書に基づき、医療、廃棄物処理及び観光等の分野で、ロシアの需要獲得に向けて取組めます。

1 概要

(1) 経緯

- ・2017年9月、第3回東方経済フォーラムで、平井知事とレピク会長が面談し、本県と露日ビジネスカウンシルとの交流がスタートした。
- ・ミッション団派遣など相互交流の結果、このたび、鳥取県と露日ビジネスカウンシルとの情報交換及びビジネスミッション相互派遣の実施、並びに、観光産業、医療及び都市環境（廃棄物処理）分野等における協力促進について、覚書に署名した。（覚書は別添参照）

【参考】露日ビジネスカウンシル レピク・アレクセイ会長

ロシア大統領府諮問会議委員を務めるなど、プーチン大統領に、ビジネス環境の課題について直言できるロシアビジネス界の要人。日露経済関係では、日本経団連ロシア委員長（丸紅会長）のカウンターパートであり日露経済関係のキーマン。自身は、ロシア大手製薬会社の「R・PHARM」会長。

【参考】露日ビジネスカウンシルの概要

ロシア経済団体（商工会議所、「実業ロシア」、産業家企業家同盟、中小企業団体連盟等）の連合体組織。日露間の経済フォーラム開催、日本とロシア企業のマッチング支援等を実施。

(2) レピク会長の本県滞在中の主な関心事項・発言等

- ・とっとりバイオフィロンティア、鳥取大学医学部シュミレーションセンターを視察。同施設内の県内企業の技術（Trans Chromosomics<バイオ技術>、MICOTO テクノロジー<医療用シュミレーションロボット>）を見学し、ロシア企業とのマッチングを支援したい旨の発言があった。
- ・知事面談の際、「今回の鳥取訪問は大変満足だった。国、大企業だけではなく、鳥取の企業のように中小企業がロシア展開に活発になることは重要であり、今回の鳥取訪問の結果について、ロシア大統領府に報告しておく」旨発言があった。

2 今後の展開

- ・露日ビジネスカウンシルのネットワーク（政府、企業等）、東方経済フォーラム参加（本年9月4日～6日、ウラジオストク開催）、ビジネスミッション派遣（10月末頃予定）を活用しながら、医療、廃棄物処理等のロシア需要獲得に取り組んでいく。
- ・露日ビジネスカウンシルは、ロシア全土が対象メンバーであること、レピク会長が、ロシア産品の対日輸出に熱心があることから、環日本海定期貨客船を活用した対露輸出入拡大に向けて、ロシア国内における同貨客船のPR、ロシア産製品輸入に関する日本企業とのマッチングを行う。



日本国鳥取県とロシア連邦露日ビジネスカウンスルとの協力に関する覚書

2019年6月28日に、鳥取県鳥取市において、日本国鳥取県知事平井伸治、ロシア連邦露日ビジネスカウンスル会長レピク・アレクセイは、友好的な雰囲気の中で実施された会談において、日本国鳥取県とロシア連邦露日ビジネスカウンスル（以下、双方）は、今後、双方の関係を発展させていくために、以下の事項に関して、協力して実施していくことで一致した。

- 1 双方は、日本国政府とロシア連邦政府で意見が一致した「8分野の協力プラン」に基づき、双方の企業・団体間における具体的なビジネス案件を創出するため、情報交換、ビジネスミッションの相互派遣等の事業において協力する。
- 2 双方は、観光産業、医療及び都市環境（廃棄物処理等）分野に関して協力をさらに進めていくとともに、新たに協力していく分野については、その都度協議して決定する。

この覚書を、双方は日本語及びロシア語で作成し、2019年6月28日に鳥取県鳥取市において調印した。

日本国 鳥取県
鳥取県知事
平井 伸治

ロシア連邦
露日ビジネスカウンスル会長
レピク・アレクセイ

平井伸治



障がい者雇用の特例子会社（株）サンライズさんこう事業開始式について

令和元年7月19日
雇用人材局雇用政策課

三光株式会社（境港市、三輪 昌輝 代表取締役社長）は障がい者雇用を進めるため昨年4月に子会社・株式会社サンライズさんこうを設立し、同子会社が今年5月28日に米子公共職業安定所長から特例子会社として認定されました。（県内で6例目）。これを記念して7月12日（金）に式典「株式会社サンライズさんこう事業開始式」が開催されました。なお、県は三光（株）に対して特例子会社設立等助成金の事業認定を行っており、今後、会社の施設整備等の支援を行うこととしています。



1 事業開始式

- (1) 日時 令和元年7月12日（金）午後2時30分～2時45分
- (2) 場所 三光株式会社潮見工場（境港市潮見町1）
- (3) 参加者 三光(株)社長 兼 (株)サンライズさんこう代表取締役、
鳥取県知事、鳥取労働局長、境港市長ほか

2 (株)サンライズさんこうの概要

	①福祉製造部門	②B型サービス部門 ワーキング プレイス サンライズ
所在地	境港市潮見町 潮見工場内	米子市富益町
建屋	潮見工場の作業場所 約500㎡（新築）	既存作業所
従業員等	15名（うち障がい者10名）	14名（うち障がい者10名）
作業内容	・ボール箱からスプレー缶を取り出して、分別 ・石膏ボードを覆う紙の再生 等	・電子機器の組み立て ・グッズ製造 等

<参考>設立までの経緯

- ・平成20年（2008年）2月～ 知的障がい者2名を雇用し、障がい者雇用を開始。
- ・平成23年（2011年）8月～ B型作業所の（特非）精神障害者家族会すけっと・サンライズ作業所ほかと契約し、分解工程の一部を委託（作業所内での作業）。さらに三光工場内で行う別の分解作業の一部をサンライズ作業所に委託。
- ・平成30年（2018年）4月 子会社「株式会社サンライズさんこう」を設立。
県は特例子会社設立等助成金の事業認定。
- ・平成31年（2019年）4月 サンライズ作業所から障がい者10名を雇用し、作業場所も竣工。
併せてB型作業所も引き継ぐ。
- ・令和元年（2019年）5月 米子公共職業安定所が、サンライズさんこうを特例子会社として認定。
（県内に本社がある特例子会社は6社目）

3 特例子会社設立等助成金の支援予定（見込み）

- (1) 施設整備費用 34,938千円
- (2) 県の支援額 20,000千円（雇用開始6か月後に10,000千円、以後1年ごとに5,000千円）

（参考）特例子会社について

特例子会社は、障がい者の雇用に特別の配慮をして設立され、障がい者を5人以上・全従業員中20%以上雇用するなどの条件を満たして公共職業安定所長の認定を受け、親会社と合算して障がい者の雇用率を算出できる子会社です。

・県内に本社がある特例子会社 6社

特例子会社	本社	親会社（所在地）	特例子会社の認定
(株) センコースクールファーム鳥取	湯梨浜町	センコー(株) (大阪府)	平成23年(2011年)1月6日
(株)大山どりーむ	米子市	(株)大山どり (米子市)	平成24年(2012年)4月17日
パナソニック アソシエイツ鳥取(株)	鳥取市	パナソニック(株) (大阪府)	平成27年(2015年)5月29日
愛ファクトリー(株)	鳥取市	(株)インフォメーション・ディベロプメント (東京都)	平成28年(2016年)5月1日
(株)フジオファーム	北栄町	(株)フジオフードシステム (大阪府)	平成30年(2018年)3月26日
(株)サンライズさんこう	境港市	三光(株) (境港市)	令和元年(2019年)5月28日

・県外に本社がある特例子会社 県内に2事業所